

沖縄ポリテックビジョン2007が 12月8, 9日に開催された

沖縄ポリテクカレッジ 林 文彬
(沖縄職業能力開発大学校)

2007年12月8, 9日に沖縄ポリテックビジョン実行委員会(実行委員長・屋良秀夫)による沖縄ポリテックビジョン2007が沖縄職業能力開発大学校で開催された。今回は2005年から連続で3回目の開催となった。初日の8日は金秀グループ創業者の呉屋秀信氏による基調講演(テーマ:私の歩み「ものづくりの楽しみとは」)と教員による総合制作・研究発表会があり, 2日目は学生の作品展示, ものづくり体験コーナーのほか, 余興として学生による模擬店の出店とエイサー披露および, グリーンピースによるライブ出演等のすばらしいプログラムが多く, ポリテックビジョン会場にいっぱいの歓声が上がった。

2007年度の開催は従来の2回開催経験を踏まえて, 広報の強化や「ものづくり体験コーナー」および余

興等の内容を一層充実することを図った。また, 沖縄ポリテックビジョン開催自体もIT技術立県という沖縄地元のニーズを支援するとともに, 沖縄職業能力開発大学校の知名度を高める目的があった。それで, 大会の開催を成功させるというコンセプトは, すでに全職員を中心に実践されたものである。

まず, 広報活動としては学校ホームページの掲載だけではなく, 沖縄職業能力開発大学校と沖縄センターの職員が手分けして県内各小中高等学校, 図書館および企業団体を訪問し, ポスターやチラシの配布を行い, さらに近隣の市役所へも広報活動を行った。また, 新聞「論壇」への投稿¹⁾や屋良秀夫校長, 長谷川健治副校長および筆者も新聞社に向いて県民の参加を呼び掛けた(写真1)。

経済フラッシュ

来月8, 9日に
3回目の学園祭
職業能力開発大学校
○: 沖縄職業能力開発
大学校は12月8, 9日に
沖縄市池原の同校で学園
祭「沖縄ポリテックビジ
ョン」を開く。屋良秀夫
校長、長谷川健治副校

長、林文彬教授の写
真から「ぜひ多くの
県民に来てほしい」と呼
び掛けた。学園祭は3回
目だが、今回は2日間
拡大。「1年目は100
0人、2年目は2000
0人が来た。今年は300
0人が目標」という。

8日は午後2時から金
秀グループ創業者の呉屋
秀信氏が講演するほか、
460人の学生が日ごろ
の研究発表を発表。9日
は小中学生を対象とした
ものづくり体験やライ
ブ、エイサーなどを予定
している。問い合わせは
☎098(934)62
82(同校)。

写真1 県民の参加を呼び掛けた新聞記事(2007年11月24日琉球新報朝刊)

こうした全職員と学生の努力により、2日間で県内の各企業、小中高学生および個人等の来場者は合計で2,766人となった。これは前年度の2,000人と比べて、来場者数は大きく伸びた。

今回もまた、来場者の方にアンケート調査を実施した。そのうち、参加動機として、「ものづくり体験コーナー」は49.4%、「学生研究作品展示」は34.3%、「記念講演」は5.6%、「雇用管理・能力開発相談」は4%、「学生自治会とその他」は6.7%となっていた。このアンケート調査の結果から「ものづくり体験コーナー」は最も人気のあるイベントであることがわかった。2年間連続して開催しているため、毎年この時期が来ると、わくわくしてものづくり体験への参加に期待している子どもは少なくなかった。

また、「ものづくり体験コーナー」の種目は前回と同数で、「オリジナルカレンダー」、「オリジナルハンカチ」、「木製ペンケース」、「手作りキャンドル」、「オリジナル模型」、「イルミネーションファイバー」、「ブルブルブラシカー」、「プロペラ飛行機」、「LEDイルミネーション」、「歩く恐竜」の10種目があった。しかし、大勢の参加者の要望に応えるため、それぞれの種目は前回の50名定員を倍の100名に増やした。各体験コーナーの体験時間も午前と午後の部に分けて予約を受け付けていた。それにもかかわらず、どの種目も予約が始まると、すぐに定員に達するなど、大盛況だった。各体験教室とも親子が協力し合って一生懸命に作品に取り組んでいる和やかな光景が見られて、会場の盛況を物語っていた(写真2を参照)。



写真2 「ものづくり体験コーナー」の風景

さらに、「学生の作品展示」、「ものづくり体験コーナー」と平行して、学生による沖縄の伝統的な芸能であるエイサー披露や、グリーンピースによるライブ出演も行われた。エイサーという演技項目は前年度から始めたが、評判がとても良かったため、今回も引き続き取り入れられた。電子技術科の平安民雄先生が指導している沖縄の伝統楽器を用いたサンシンサークル(写真3)と住居環境科山城一美先生が招集した踊り隊(写真4)はそれぞれ数ヵ月の特訓を行っていた。大会当日、両者はひっきりなしに連携を取りながらすばらしい演技で、観衆から大きな拍手が続いた。これと併せて今回初出場していただいた沖縄の若者にとっても人気があるグリーンピースのライブ出演(写真5)は大勢の人々の心を引き付けて、会場の雰囲気が大きく盛り上がった。

沖縄ポリテックビジョン2007は大成功のうちに幕



写真3 学生によるサンシン演奏隊



写真4 学生によるエイサー披露



写真5 グリーンピースによるライブ出演

を閉じた。今回は3,000人近くの来場者が各科の展示作品を見学したり、ものづくりを体験したりして、

彼らに沖縄職業能力開発大学校が行う実践的な教育訓練活動の状況および、これから何を狙っているのかを知ってもらうことができた。少子化の影響で大学全入といわれている現在の社会情勢に沖縄職業能力開発大学校は県内の高校生の間に人気は衰えることはないだろう。その理由として今回の沖縄ポリテックビジョンの開催のように、屋良校長・長谷川副校長をはじめ、学校全員があらゆる方向から地道に努力した賜物といえる。

＜参考文献＞

- 1) 林文彬：「職業技能が県発展を支える－広げよう、ものづくりの技術－」, 琉球新報（朝刊）「論壇」, 2007年12月3日に掲載された

職業能力開発ステーションサポートシステムの紹介

職業能力開発総合大学校能力開発研究センターでは、職業能力開発業務に従事する皆さまをバックアップするために、「職業能力開発ステーションサポートシステム」というサイトを管理・運営しております。

当サイトでは、全国職業能力開発施設において使用している教科書の検索、指導員の方が教材作成を行う際に気をつけなければいけない著作権に対するQ&A、指導員の方々が作られた教材を登録し、共有することで各指導員の自作教材開発を支援するための教材作成支援情報システム、職業能力開発に関する調査研究報告書等を電子閲覧できるようにした刊行物検索、そして本誌のバックナンバーなどが閲覧できるようになっています。

ご覧になられたことがない方は、ぜひ、一度ご覧ください。



■主な情報発信項目

- 能力開発研究センター刊行物検索
- カリキュラムモデル検索
- 教材作成支援機能
- 専門課程・応用課程課題情報検索
- 教科書使用状況検索
- 「技能と技術」バックナンバー
- メールマガジン配信申込
- 教材作成にかかわる著作権
- お問い合わせ・FAQ

職業能力開発ステーションサポートシステム
<http://www.tetras.uitec.ehdo.go.jp/>